

# におうゴールドの終着駅

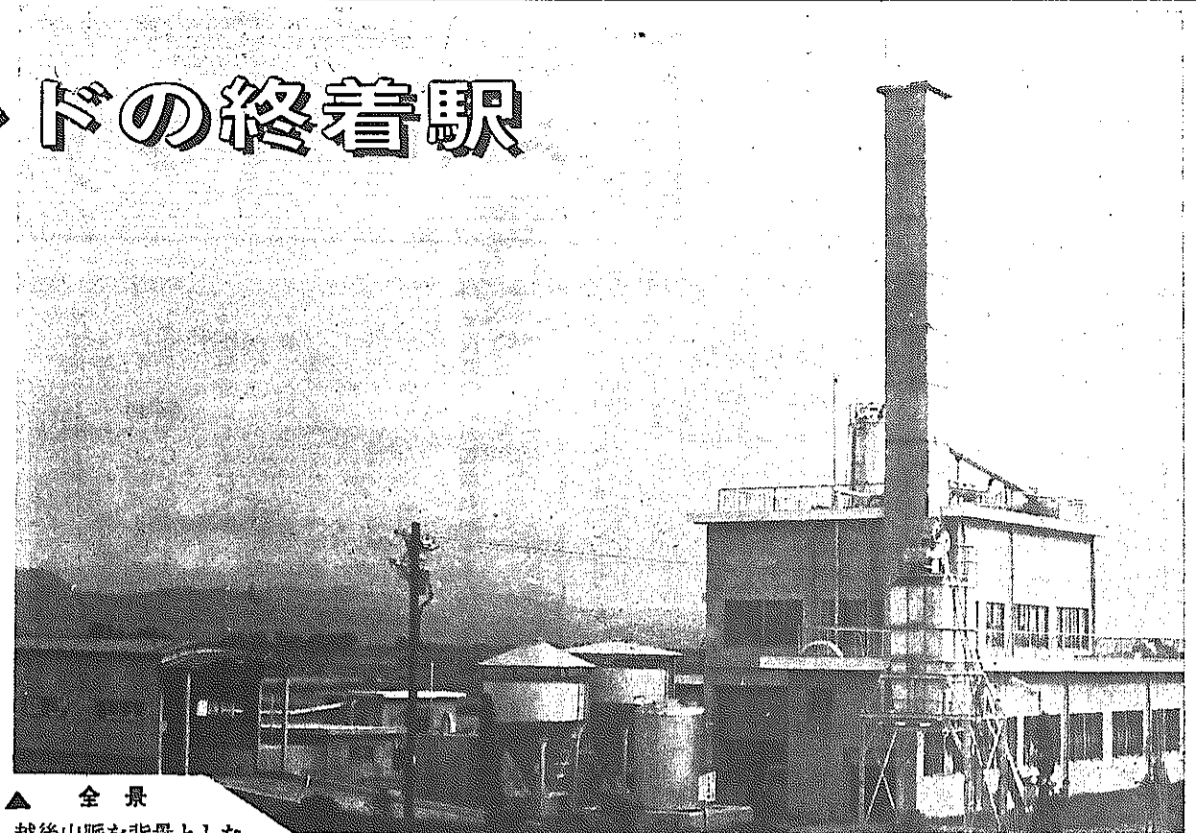
## 紙上施設めぐり〔その2〕

### し尿処理場の巻

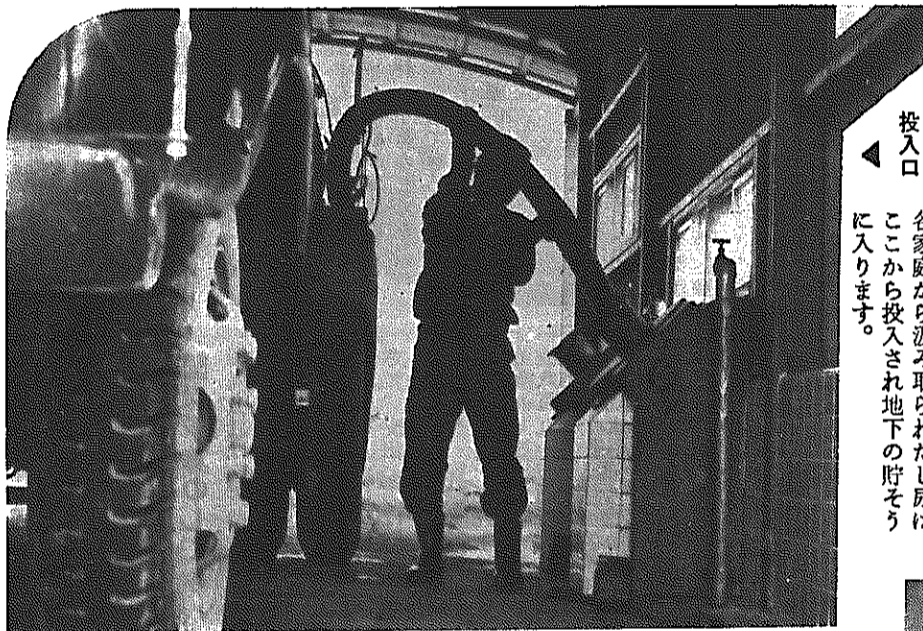
わたしたちが毎日排せつしているし尿を、前は肥料として使っていましたが、今では化学肥料がたくさん出まわって、農家からもしめ出しをくっています。そこで必要になって来たのがし尿を科学的に処理できる施設です。

今年の1月鍋湯地内(三丁つき)にできあがったし尿処理場は、化学処理方式によって1日に5万4千人分のし尿を処理する能力をもち、いま大活やくをしています。

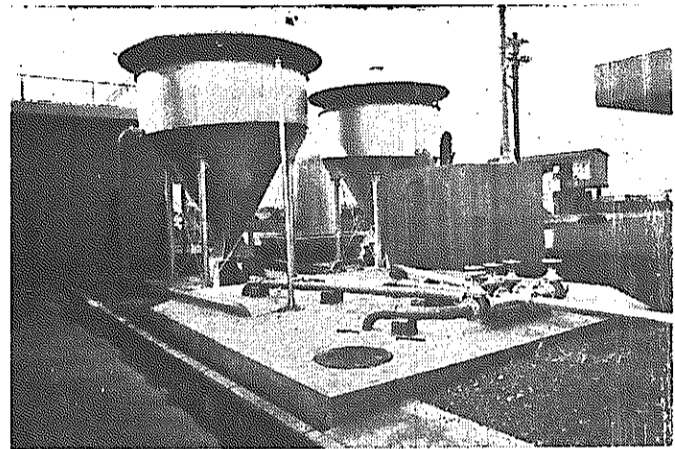
この紙上施設めぐりでは、同処理場にはどんな機械があって、どんな方法で処理しているかを写真で紹介して行きます。



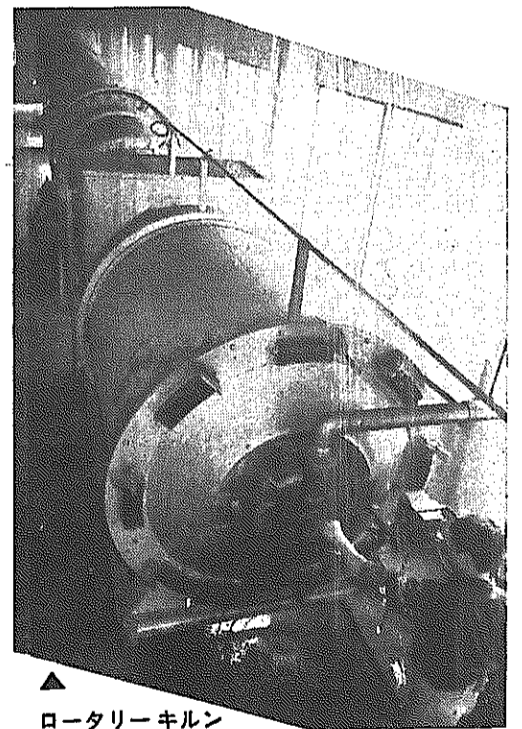
▲ 全景  
越後山脈を背景とした処理場の全景。



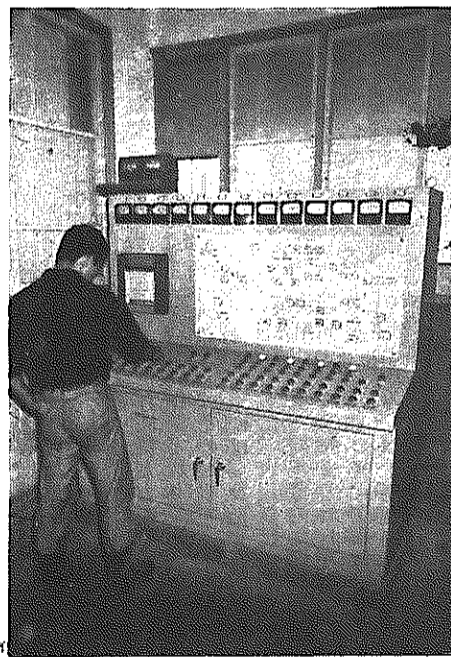
▲ 投入口  
各家庭から汲み取られたし尿はここから投入され地下の貯蔵所に入ります。



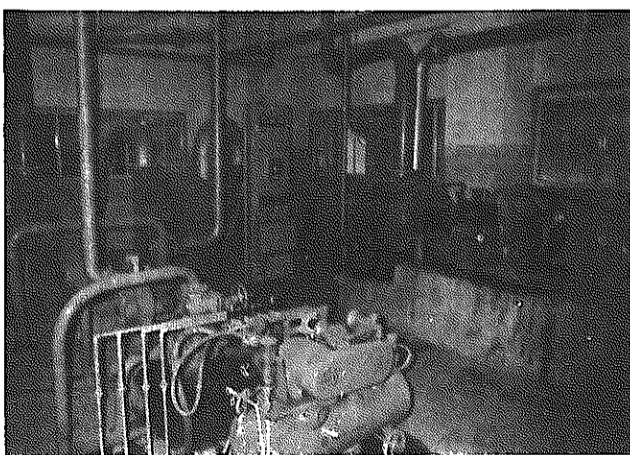
▲ シックナー  
一次分離された水分は、ここでさらに二次分離され、細かい個型物と水分に分けられます。



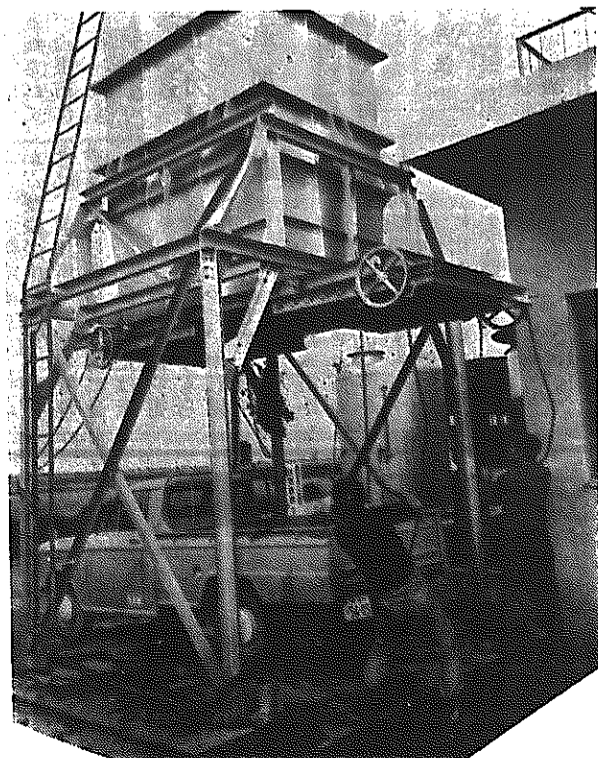
▲ ロータリーキルン  
分離された個型物はここで熱処理されホッパーへ送られます。



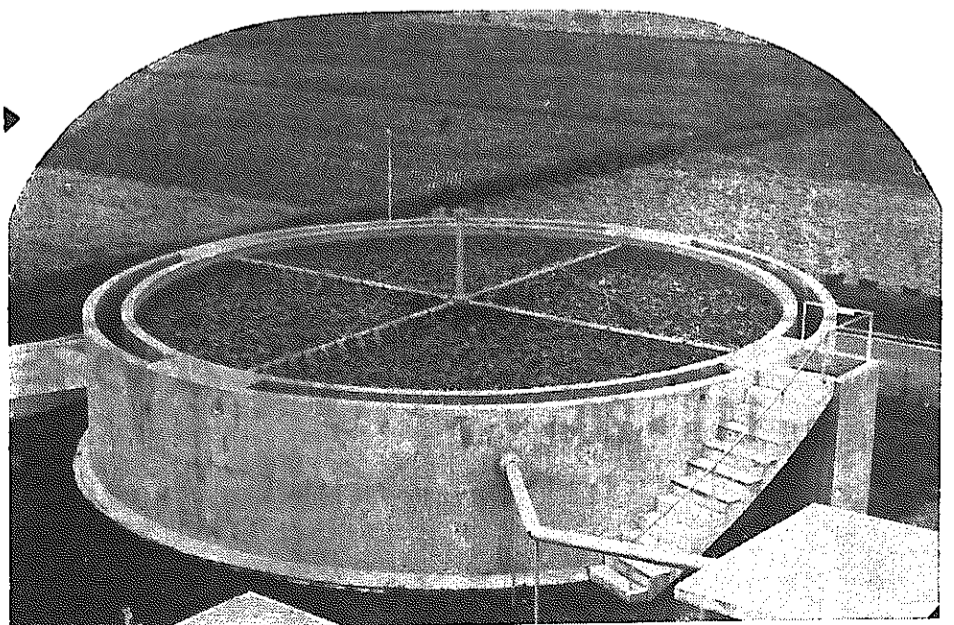
▲ 操作室  
このボタンで各機械が操作されます。



▲ 機械室  
吸い上げられたし尿は、この機械で個型物と水分に分けられます。



▲ ホッパー  
ロータリーキルンで熱処理された個型物は肥料としてここから積み出されます。



▲ サンプロ床  
きれいになった水分はここでさらに浄化して川に流されます。